

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	FLOW香芝		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 10日		令和8年 2月28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 10日		令和8年 2月28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりのニーズに応じた支援の実施  子どもの発達段階や特性、興味関心を踏まえた個別支援計画を作成し、それぞれのニーズに応じた支援を行っている	PDCAサイクルを活用した支援の見直し  モニタリングやケース検討を通して支援内容の振り返りを行い、継続的な改善に繋げている	支援の質の継続的な向上  PDCAサイクルを活用し、支援内容の評価と改善を行いながら、より効果的な支援の提供に繋げていく
2	多職種による支援体制  専門職を配置し、多角的な視点から子どもの発達や生活面を捉えた支援を行っている	活動を通して自主性や社会性を育てる  遊びや活動を通して人との関わりやルール理解など、社会性を育む支援を行っている	多職種連携の強化  専門職や関係機関との連携を深め、より多角的な支援体制の構築を目指す
3	職員の研鑽による支援の質の向上  社内研修や外部研修、学会等への参加を通して職員の専門性向上に努め、より質の高い支援の提供を目指している	各専門職としての自己研鑽の機会を積極的に持つ  学んだ事を実践に活かしていけるように努めていく 保護者の方により良い支援を提供する事ができるための学びを深めている	専門性向上のための研修の充実  社内研修の充実や外部研修、学会参加を積極的に行い、専門知識や支援技術の向上を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の年齢や発達段階の幅広さへの対応  学年や発達段階の幅が広い為、すべての利用児にとって適切な活動や支援内容を提供することが課題となる場合がある	利用児のニーズの多様化  発達特性や、得意、不得意が異なるため、個々のニーズに応じた支援方法の検討が必要となる	社会性を育む支援内容の工夫  個々の発達段階や特性に応じた活動を取り入れ、学校生活での困り感や集団のルール理解を育む機会の充実を図る
2	社会性やコミュニケーション支援のさらなる充実  活動の中で人との関わりを大切にしているが、より効果的な支援方法の検討が必要である	集団へつながる個別支援の必要性  社会性を育む活動を行う中でも、1人ひとりの特性に応じた支援が必要となる	安心できる関係作り、信頼関係の築き  1人ひとりの特性に応じた声掛けや支援を行い、安心して参加できる環境、プログラムの提供を行う 子どもの育ち、家族の安心を支えていく
3	学校や関係機関との連携の強化  学校との情報共有や連携を行っているが、支援をより効果的に行うためには、さらなる連携強化が必要である	学校との連携の機会  時間的な制約などにより十分な連携が難しい場合がある	家庭、学校との連携の強化  保護者と日々の情報共有や学校との連携を継続し、子どもの生活全体を見据えた支援に繋げていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 FLOW香芝

公表日 2026年3月31日

利用児童数 43人

回収数 26人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	1			活動スペースについては、安全面に配慮しながら安心して過ごせる環境づくりに努めます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	2				法令で定められた職員配置を満たし、子ども1人ひとりの発達や特性に応じた支援が行えるよう努めています
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	2				エレベーターは設置されています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	1			清掃、消毒作業、安全点検は毎日行なっています
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		2		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	11	8		イベント開催時など、交流の機会を設けています
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	2	5		今後も、保護者の皆さまが参加しやすい研修会や情報提供の機会を設けていけるよう努めていきます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	4	13		父母の会はありませんが、イベントや保護者の方向けの研修会、集まりの場を企画、開催しております

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3		3	保護者の皆さまとコミュニケーションを大切にしながら、お子様の成長や課題について共有し、共に支援を考えていける関係作りを大切にしています 今後も相談しやすい環境づくりに努めていきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		4	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1			個人情報の取扱いに引き続き注意して管理していきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3		3	情報をわかりやすくお伝えできるように、説明や連絡方法を検討していきます 訓練実施後に公式ライン、インスタグラムで様子を発信していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	3		9	定期的に安全の確保に努めています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2		2	引き続き安全の確保に努めてまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		7	今後も事故の原因、対策、防止策についてしっかりと検討していきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26				
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		FLOW香芝				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	適宜事業所ミーティングを開催し、振り返りや意見を出し合える機会を設定しています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		必要に応じて検討していきます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		各種学会や学術大会の参加や事業所内での研修参加の機会を設定しています		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		事業所内でケース検討の機会を設けています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		職員間での情報共有はなされています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	職員間でミーティングや申し送りを行っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			送迎は行っていません 学校との情報共有は、必要に応じて行っています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		必要に応じて行っています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			現在対象の方はいませんが、今後必要に応じて行っています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			今後機会を設けていきたいと考えています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			イベント開催時など、交流の機会を設けています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		支援ごとに保護者の方との振り返り、共有の機会を設けております		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者の方向けの勉強会を開催しています		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的に面談の機会を設けています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		保護者会はありませんが、イベントや保護者の方向けの集まりの場を企画、開催しています	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		ホームページや公式ライン、インスタグラムを中心に情報を伝えています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		検討していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7		食事の提供は行っていませんが、状況把握はしています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		7			必要な場合は行いますが、現在対象の方はいません